

## 自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制 

教養・共通教育センター
-------------

(責任者名) 

木村秀幸
------

(役職名) 

教養・共通教育センター長
--------------

## ② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	本教育プログラムの構成科目「情報リテラシーⅡ」は、令和7年度以降の入学生を対象とした科目であるため、令和7年度の履修率は高くはないが、履修登録者のうち80%以上の者が単位取得をしている。
学修成果	学修成果については、「情報リテラシーⅡ」の学生による授業評価アンケートの結果及び単位修得状況を用いて評価を行う。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	「情報リテラシーⅡ」の学生による授業評価アンケート、特に、設問「シラバスに示されている達成目標をどの程度達成できましたか。」及び設問「授業評価(過程・成果)は、自分の達成度に合わせていましたか。」の結果により学生の内容理解度を把握する。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	「情報リテラシーⅡ」の学生による授業評価アンケート、特に設問「達成目標の成果を得るために、適切な指導が行われましたか。」及び設問「授業内容・課題は、達成目標に即したものでしたか。」の結果により他の学生への推奨度を判断する。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	「情報リテラシーⅡ」は後期開講科目であるため、特に後期ガイダンスにおいて本教育プログラムの意義等を伝え、履修を促す。

自己点検・評価の視点		自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点		
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価		本教育プログラムの構成科目「情報リテラシーⅡ」は、令和7年度以降の入学生を対象とした科目であるため、プログラム修了者はまだ在学中である。プログラム修了者が卒業する年度以降は、キャリア支援室の進路の情報及び卒業生の進路先を対象にしたアンケートの結果を用いて、修了者の進路、活躍状況、企業等の評価について点検を行う予定である。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見		本学の卒業生の進路先を対象にしたアンケートの結果を教育プログラムの内容の見直しに活用する。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること		実データを用いた課題に関するグループディスカッションの中で、数理・データサイエンス・AIについて学ぶことの意義を伝えている。また、日常生活、仕事等の現場でデータ、AIが活用される場面を紹介することにより数理・データサイエンス・AIに対する興味を深められるようにしている。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること  ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載		教養・共通教育センターにおいて、学生による授業評価アンケート及び卒業生の進路先を対象にしたアンケートの結果、授業担当者の意見から、内容・水準を維持・向上したより「わかりやすい」授業となるよう検討を行う。